

群馬県蚕糸業現況調査書

復刊版



群馬縣蠶絲業現況調査書

群馬地域文化振興会

群馬縣蠶絲業現況調查書

緒言

本編ハ本縣蠶絲業調査會ニ於テ縣下蠶絲業ノ
現況ヲ調査シタルモノニシテ縣下蠶絲業ノ現
況ヲ知ルニ於テ裨益スル所尠ナカラサルヲ以
テ之ヲ印刷シ當事者ノ參考ニ資スト云爾

明治三十七年三月

群馬縣內務部

群馬縣蠶絲業現況調査書

凡 例

- 一、此書は縣下各都市町村役場に囑託して蠶絲業の現況を調査せるものを蒐集編纂し縣下蠶絲業の現況を知るの資となすに在り
- 一、現況の調査を囑託したるは明治三十五年五月にして之れを終了したるは同三十七年に亘りたるを以て篇中の事項は自然三十五年三十六年の兩年に亘れる現況として參考に資せらるべし
- 一、現況を調査すべき項目にして欠けたるもの少なからざるべきも今や其期に切迫せるを以て先づ之を公にし將來の調査を俟つものなり
- 一、市は行政上特立あるものなれども蠶絲業の如きは其關係少なきを以て之を特立するときは平均等に於て頗る穩當を得ざるものあるが如し故に或事項は之を郡部町村(前橋市は勢多郡に高崎市は群馬郡に合せり)として計算せり
- 一、或町村の如きは時期切迫の爲め本會に於て人を派し其地實業者の力を藉りて調査

したるものあり故に町村の統計と幾分の差異あるべきも大体は異ならざるを期せり

一、本書中の計數にして本縣勸業年報等と比較するときは相違の点ありと雖ども之れ調査時期の異なるが爲めにして止むを得ざるに出づ然れども其大体は誤りなきを期せり

一、本書は各市町村より提出の書類に就き編纂し其結果は本會の是認したるものあれども篇中の記事は其責專任幹事に在るを以て其誤謬は叱正せられんとを望む

群馬縣蠶絲業現況調査書

目次

桑畑の現況

- 一 地目別の反別……………一頁
- 二 桑畑段別……………四頁
- 三 植付株數及採收量……………二四頁
- 四 桑樹の種類名稱……………二八頁
- 五 桑畑整地の方法、植付方法及期節……………三七頁
- 六 桑畑の耕耘施肥の方法及期節……………三九頁
- 七 桑畑所有の多少……………四一頁
- 八 桑畑自作小作の別……………四三頁
- 九 桑苗の生産額……………六三頁
- 十 桑樹病蟲害の狀況及驅除法……………七一頁

養蠶業の現況

- 一 養蠶法の現況……………七二頁
- 二 戸數……………七六頁
- 三 養蠶戸數……………九五頁
- 四 蠶種掃立枚數……………一一五頁
- 五 收繭額……………一三五頁
- 六 殺蛹乾繭の現況……………二一二頁
- 七 繭販賣の現況……………二二六頁
- 八 蠶具の現況……………二三〇頁
- 九 養蠶教師派遣及傭聘の現況……………二三五頁
- 十 労働者需給の現況……………二四四頁

蠶種製造業の現況

- 一 蠶種製造者數……………二六四頁
- 二 蠶種製造額……………二八四頁
- 三 蠶種の名稱……………三〇四頁

| | | |
|---|-----------------|------|
| 四 | 蠶種の販賣先き及方法價格 | 三一四頁 |
| 五 | 蠶種検査の現況 | 三一七頁 |
| 六 | 蠶種製造に關する組合團體の現況 | 三二二頁 |

製 絲 業 の 現 況

| | | |
|---|---------------------|------|
| 一 | 製絲戸數及釜數 | 三三三頁 |
| 二 | 生絲外四品産額價格 | 三五二頁 |
| 三 | 繭使用高、生絲販賣方法別數量、束裝歩合 | 三七〇頁 |
| 四 | 團體製絲戸數及共同揚返場數 | 三八九頁 |
| 五 | 團體町村別戸數及釜數出絲高 | 四〇〇頁 |
| 六 | 工女數及賃銀、生絲挽賃の現況 | 四一三頁 |
| 七 | 生絲を最も多く製出する地名 | 四三一頁 |
| 八 | 座繰製絲共同販賣組織の現況 | 四三八頁 |
| 九 | 器械製絲所の現況 | 四八二頁 |
| 十 | 蠶絲類を取扱ふ商人の數 | 四八七頁 |

收支計算の現況

| | |
|--------------|------|
| 一 桑畑の收支計算 | 四九四頁 |
| 二 普通畑作の收支計算 | 四九五頁 |
| 三 養蠶業の收支計算 | 四九六頁 |
| 四 蠶種製造業の收支計算 | 四九八頁 |
| 五 製絲業の收支計算 | 四九九頁 |
| 六 收支計算の結果 | 五〇一頁 |

群馬縣蠶絲業現況調査書

桑樹の現況

第一 地目別の反別

桑樹を栽植する畑地は蠶業の根本なるを以て之れが經營の宜しきを得ると否とは蠶業上に影響を及ぼすこと多大ありとす故に桑畑の經營は之れを土地一般の情態と蠶業に關係ある諸種の情態とを觀察して計畫するにあらざれば過不及の調和及び收利の圓滑を完ふること能はざるなり依て先づ本縣に於ける土地全体の情態を示し順次他の事情を明かにせんとす

本縣即ち上野國の總面積は五百二十三方里にして地目別の反別は總計八拾參萬九千貳百拾町四反三畝拾歩とす而して之れを官民有に區別すれば官有地七割一分民有地二割九分なり

桑畑は民有地の畑地を以て充用するものあれども宅地、田、山林、原野は或場合に於ては桑樹を栽植するの時期來るべきのみならず宅地等の一部分には栽植せられつゝあるにより是等の段別及び現今の桑畑歩合を左に表示す

地目別の段別 (民有地)

| 郡市名 | 田 | 畑 | 宅地 | 山林 | 原野 | 其他 | 合計 |
|------|-----------------|----------------|---------------|-----------------|------------------|---------------|-------------------|
| 前橋市 | 三二七、九五〇、二〇〇 | 二六九、三五一、六〇六 | 二二六、三二一、四六七 | 四七、二八一、〇〇〇 | 六、四七二、八〇〇 | 二六、三二一、八四六 | 九〇三、七〇二、九一九 |
| 高崎市 | 一四八、八八一、〇〇〇 | 四二、六三二、一〇〇 | 一〇四、一九一、九九四 | 七、五二一、〇〇〇 | 一、四〇二、〇〇〇 | 二一、九九一、〇五八 | 三、一八六、〇〇〇、五二二 |
| 勢多郡 | 四七二、九五一、〇〇〇 | 七三七、四六六、二四〇〇 | 一、三四八、一三〇、六六三 | 二〇、三七五、七三三、〇〇〇 | 九九四、四二二、〇〇〇 | 一五一、四一〇、四七〇 | 三、四〇九、一五二、九七〇 |
| 群馬郡 | 五、一三三、三七一、五〇〇 | 九三〇、三二〇、二七七 | 一、四三〇、八七〇、六六〇 | 九、七〇四、九九一、八六六 | 九五九、六九一、三〇〇 | 二六五、四二八、〇二二 | 二六、七九七、五六二、八四五 |
| 多野郡 | 一〇、五一、二四〇、〇〇〇 | 八、六八五、三二〇、九〇〇 | 七四〇、三八〇、四三六 | 一〇、一〇六、二五二、二二五 | 四、二八五、七八一、七〇〇 | 七八、八一、二二〇〇 | 二四、九四七、七七二、三四一 |
| 北甘樂郡 | 一、二八五、九八一、三三〇 | 七、三三〇、五四二、七〇〇 | 七〇七、四四〇、八〇〇 | 一四、七〇六、七五一、八〇〇 | 三、四二二、八〇一、〇〇〇 | 一一九、二四二、〇三八 | 二七、四七二、七八〇、七三八 |
| 碓氷郡 | 二〇、一三三、三四一、一〇〇 | 五、三八〇、八五〇、八〇〇 | 六二七、七〇〇、八〇〇 | 九、〇〇二、七三二、九〇〇 | 七〇一、七五二、三〇〇 | 五八、六三三、三〇〇 | 一七、八〇三、〇三〇、二〇〇 |
| 吾妻郡 | 九九六、七四一、二〇〇 | 六、一〇一、三一六、八〇〇 | 五一四、〇八二、二〇〇 | 一五、五六一、八六二、七〇〇 | 七、五七四、四一六、〇〇〇 | 五八、八五二、二〇〇 | 三〇、七六五、二八二、五八〇 |
| 利根郡 | 一、八九五、九四〇、五〇〇 | 九、一〇五、一一二、〇七〇 | 七二四、七七二、六五〇 | 九、五二二、四七〇、六〇〇 | 三、三八五、三七二、一〇〇 | 七〇、五三〇、五〇〇 | 二四、六六三、八三二、九七〇 |
| 佐波郡 | 三三〇、六七三、五二二、四四五 | 五、五二三、二四〇、九九五 | 一、〇四七、二〇〇、二二五 | 三、三三三、五〇一、六〇〇 | 四三一、一四〇、七〇〇 | 一〇九、四四二、七四五 | 一三、四九一、八九三、三一〇 |
| 新田郡 | 三、一八五、三三〇、三二二 | 四、八三二、七八二、六〇〇 | 九四六、八七二、二〇〇 | 五、三二二、二六〇、七〇〇 | 一、三三二、一二七、七七 | 五三三、三二二、〇〇〇 | 一四、五六二、六七二、七八九 |
| 山田郡 | 一、九六〇、三四〇、六〇〇 | 二、四七五、四四二、二二九 | 七〇五、二二七、二七八 | 七、八三九、五二二、五〇〇 | 一、一五八、九六〇、一〇〇 | 八四、六七二、五〇〇 | 一四、二二四、一七〇、六五七 |
| 邑樂郡 | 三、九一五、八八〇、三〇〇 | 六、五四三、二七二、二〇〇 | 一、三三三、〇二二、四六四 | 二、八〇六、三八二、五九九〇 | 六五〇、八〇一、三〇〇 | 三三三、七一一、四八〇 | 一五、五八三、〇九三、三三四 |
| 合計 | 二九、七七五、三二二、五七七 | 七二、八六七、七六一、九九七 | 二〇、四四六、四二〇、七七 | 一〇八、二二五、三七二、八七一 | 二、三三三、七〇三、八七二、七七 | 一、四三三、〇二二、七二六 | 二、四〇六、四四〇、六〇一、〇一五 |

備考 其他とは社寺地、鐵道用地、道路堤防、河川溝渠、池沼湖雜の合計なり

(明治三十四年本縣統計書)

官有地は總計五拾九萬五千八拾壹丁九畝貳拾五步にして内譯田反別壹町七反六畝貳拾參步畑反別貳町五段參畝拾六步宅地反別八步山林反別四拾五萬七千四百六拾六丁四畝步原野反別五萬參千八百八拾五町九反四畝拾六步御料原野參萬千四百參拾四町九畝拾七步其他五萬貳千貳百九拾町七反壹畝五步ありとす而して本縣下の土地は各地目に對し如何なる割合を以て使用せられつゝあるかを表示すれば左の如し

| 地目 | | 總反別に對する歩合 | | 全上官有地歩合 | | 全上民有地歩合 | |
|----|---|-----------|---|---------|---|---------|---|
| 田 | 四 | 九 | 步 | 些 | 四 | 步 | 步 |
| 畑 | 一 | 九 | 步 | 全 | 九 | 步 | 步 |
| 宅地 | 一 | 七 | 步 | 全 | 一 | 步 | 步 |
| 山林 | 六 | 三 | 步 | 割 | 一 | 步 | 步 |
| 原野 | 一 | 三 | 步 | 割 | 三 | 步 | 步 |
| 其他 | 六 | 六 | 步 | 割 | 些 | 步 | 步 |
| 合計 | 計 | 七 | 步 | 一 | 二 | 步 | 步 |